

不安解消！ レポートの取り組み方

2024.07.11

Title 不安解消！レポートの取り組み方

I. そもそもレポートとは？

II. レポートの基本的構成とは？

基本的な事項
の確認

III. 執筆前に必要な準備

IV. 執筆にとりかかろう

レポートの
執筆方法

Title 不安解消！レポートの取り組み方

I. そもそもレポートとは？

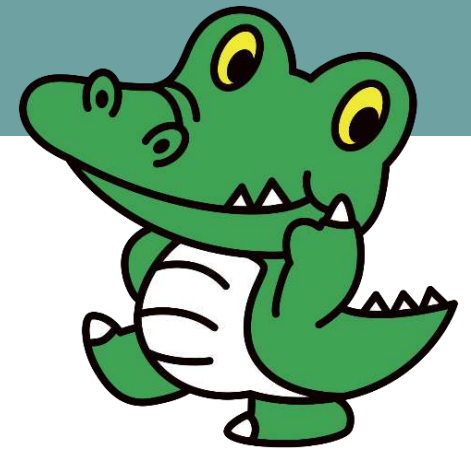
II. レポートの基本的構成とは？

III. 執筆前に必要な準備

IV. 執筆にとりかかろう

レポートって何？

学習内容の理解を示すための
学術的な報告書です。



レポートはどういう課題？

計られる事項

-  課題の背景や問題点に関する理解度
-  課題についてどれほど深く調べて考えたか

身につく力

-  レポートは論文執筆のための段階的な練習



初めから完璧である必要はない！

NG例から見る必須事項 その1

✎ ネットに×××と書いてありました。
まとめると〇〇〇です。

根拠が不明確

論理の欠落

他の人に確かめられる形の
論拠が必要！

NG例から見る必須事項 その2

✎ △△△について**私は**□□□と
思いました。

意見が**主観的**

考察の不足

ある考えに至るまでの
論理的な説明が必要！

Title 不安解消！レポートの取り組み方

I. そもそもレポートとは？

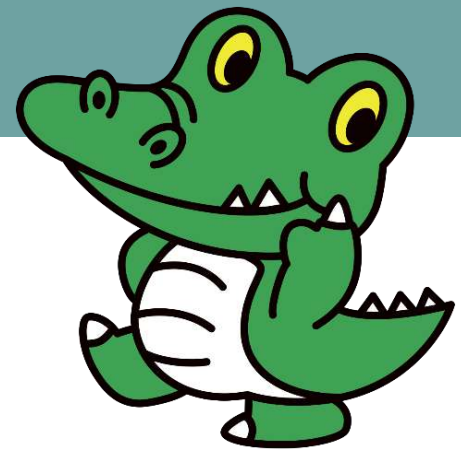
II. レポートの基本的構成とは？

III. 執筆前に必要な準備

IV. 執筆にとりかかろう

レポートの構成は？

序論・本論・結論の三段階の構成が基本です。



レポートの構成（概要）

序論

導入と予告

- ✓ 問題設定
- ✓ 先行研究
- ✓ 対象と手法

本論

論証

- ✓ 調査概要
- ✓ 分析
- ✓ 考察

結論

要約と総括

- ✓ 結論
- ✓ 限界と展望

石黒(2012: 14-17),
佐渡島et al. (2015: 88) 参照

序論について

序論

本論

結論

STEP 1

問題設定

- テーマの宣言

STEP 2

先行研究

- 従来の見解の概観
- 上記項目との差異

先行研究の利用！

STEP 3

対象と手法

- 全体の構成の予告

結論まで書いてからの調整でもOK!

本論について

序論

本論

結論

STEP 1

調査概要

➤ 調査の詳細な説明

STEP 2

分析

➤ 結果の提示と説明

STEP 3

考察

➤ 結果に至った理由

参考に用いた先行研究をその都度明示！

結論について

序論

本論

結論

STEP 1

結論

- 全体の要約

STEP 2

限界と展望

- 不明な点
- 不足している点

Title 不安解消！レポートの取り組み方

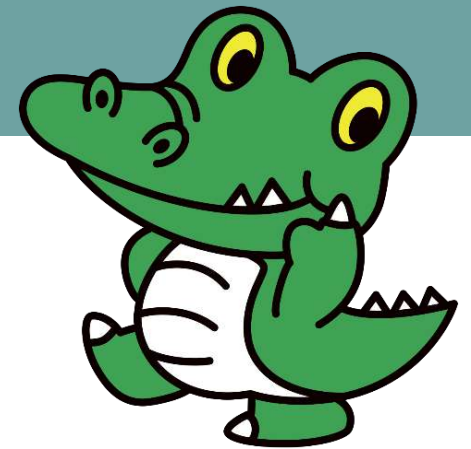
I. そもそもレポートとは？

II. レポートの基本的構成とは？

III. 執筆前に必要な準備

IV. 執筆にとりかかろう

執筆前の準備とは？



課題の分析、資料の検索、考えの整理をおこなしましょう

課題の分析

🔍 どのような観点から論じるかのアタリをつけよう

ノートを確認

専門の辞典
でキーワードを検索

レジュメを確認

百科事典
でキーワードを検索



資料の検索

CiNii BooksやCiNii Researchも利用！

図書館
ホームページ



レジュメ・教科書・
図書館書架の本 etc.

参考文献
の参照



大学図書館
書架



外国語の
利用



背表紙には思いもよらない
キーワードが！

英語や専攻語は
大きな武器！

考えの整理

STEP 3 論の構成

グループ内部の論の展開
グループ同士の接続関係

を整理

STEP 2 情報の仕分け

STEP 1の情報のグループ化
(考察A←論拠a, b、考察B←論拠c,d …)

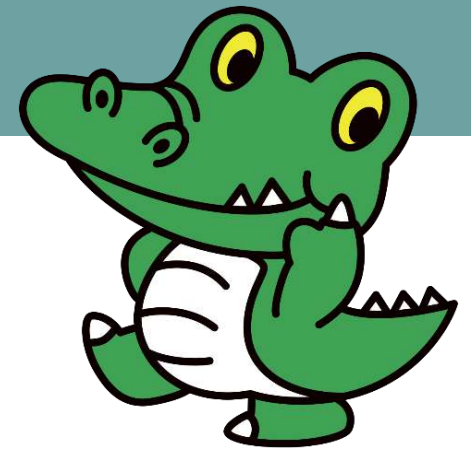
STEP 1 ブレインストーミング

学んだ内容や考察した内容の列挙(文でも語でもOK)
レポートのテーマとの関連性の意識

Title 不安解消！レポートの取り組み方

- I. そもそもレポートとは？
- II. レポートの基本的構成とは？
- III. 執筆前に必要な準備
- IV. 執筆にとりかかろう**

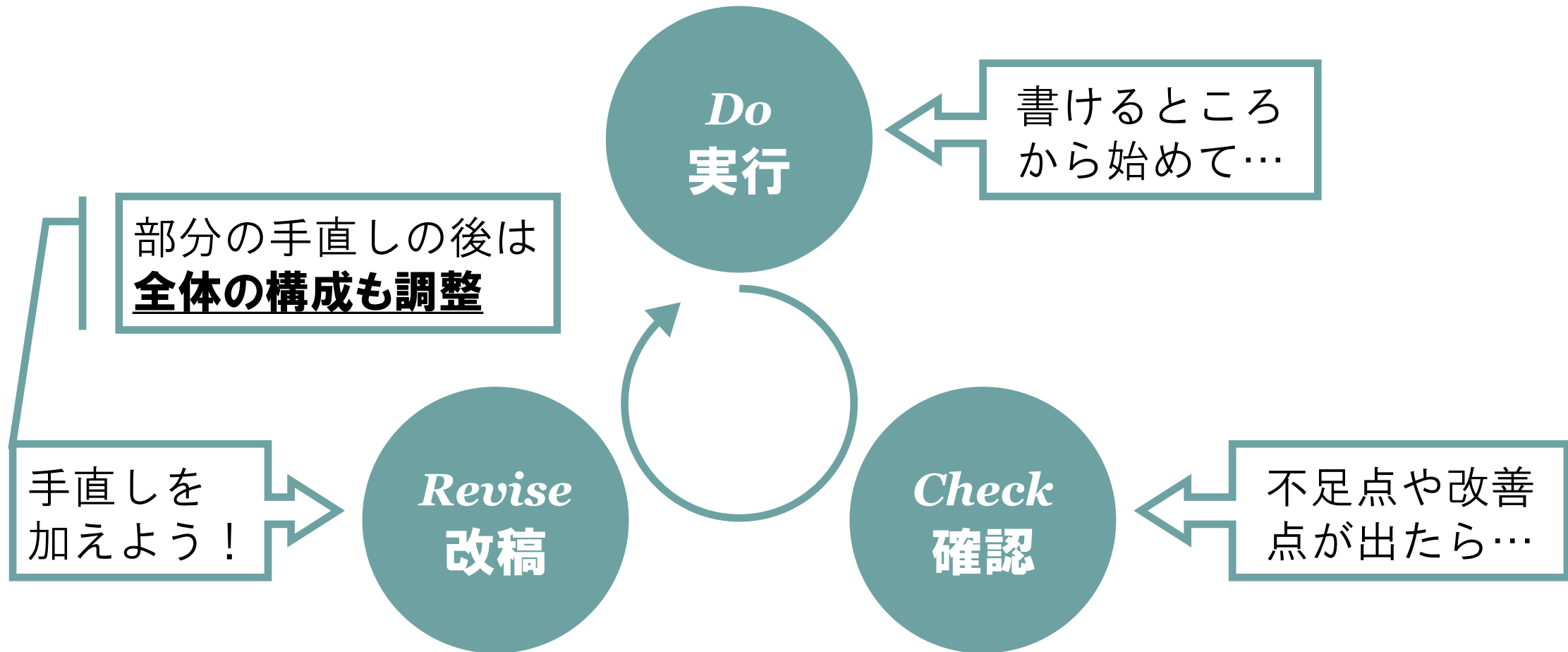
やみくもな書き出しは
よくないの？



型の意識は大切ですが、
取り掛からなければ始まりません

執筆のサイクル

✓ 執筆作業は実行・確認・改稿のサイクルにのることが大切です



質を高めるコツ

1. 行き詰まったら潔く間を置く

凝り固まった思考を
ほぐそう

2. 全行程を詰めておこなわない

日取りを工夫して少し
ずつ進めよう

3. 余裕をもって取りかかる

1. 2. を可能にするため、
なるべく早く始めよう



完璧である必要はありません！

最後は潔く区切りを
つけることも大切。

参考文献

石黒圭(2012)『論文・レポートの基本—この1冊できちんと書ける!』日本実業出版社.

佐渡島紗織, 坂本麻裕子, 大野真澄(編著)(2015)『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド—大学生・大学院生のための自己点検法29』大修館書店.



***Thank you for
listening!***